

クラス別・個人別 図書貸出冊数 ベスト1 ベスト2

月	種 類	ベスト1	ベスト2
9月	総合貸出冊数	1年4組	2年3組 3年3組
	朝読書用学級文庫貸出冊数	2年3組	該当なし
	個人貸出冊数	1年4組	3年3組

紹介する本

題 『スラムダンク勝利学』
著 者 辻 秀一
発行所 株式会社 集英社インターナショナル
発 行 2000年10月10日 第1刷 発行
2010年6月21日 第39刷 発行
定 価 1,000円+税 図書館にあり

保健体育科教諭 山田 哲也

「あきらめたら、そこで試合終了だよ。」……このフレーズを聞いたことがありますか？ 私たちの世代の100人に聞いたら、99人は聞いたことがあると答えるフレーズです。そう、漫画、『スラムダンク』のある場面で、安西先生が三井寿にかける言葉です。

その『スラムダンク』を著者辻秀一さんは、「人生の哲学書」と言い、書き上げた本が本書です。『スラムダンク』というスポーツコミックを通して、「勝つ」ために必要な事が書かれています。その中で人間が成長する要素として、最も興味深い内容を三つ端的に紹介します。

- ① 「90%の人がネガティブで、ポジティブな人はわずか10%の人だけ」
 どうでしょうか？ 不破高校でも、ネガティブな考えの生徒が多いように思います。それはなぜでしょうか……。生徒と会話をする中でよく耳にする言葉があります。それは「**どうせ無理やで**」とか「**どうせやっても無駄やもん**」です。これらの言葉を口にした生徒はいまいませんか？ ネガティブな発言は自分をマイナス面へ引き込み、本来持っている力を発揮できなくするのです。何もやってもいないのに、勝手に「無理」や「無駄」と決めつける事は、自分や周りをマイナスの方向へ導いてしまうだけです。これからは禁句です。やめましょう。
- ② 「自分が正しく、それ以外は間違いであるという者は、怒りの感情をコントロールできない」
 「人や物事や事実を全て**○か×**でしか考えられない者は感情のコントロールができない。」と書いてあります。「自分が○で、他は×。その考え方を撤回し、**△と□**にしてみよう。英語で言うと**wrong(間違っただけ)ではなくdifferent(違っただけ)**にしてみよう。」とも書いてあります。自分が悪いのにそれを認めない、悪いことをして怒られているのに「何で俺(おれ)だけなんや。」と自分の非を認めない。それでは社会に出て通用しません。全てを○か×で考えるのではなく、柔軟なとらえ方を身につけ、感情をコントロールできる大人になってほしいです。
- ③ 「ミラー(鏡)の法則」
 他人や周囲の環境に対して文句を言ったり、愚痴ったり、悪口を言ってしまうと**鏡のよう**
に自分に跳ね返ってくるというのです。一流選手や立派な人間は、このようなことはありません。なぜなら、全てが自分に返ってくる事を知っているからです。逆に、自分が頑張っている(つら)い時に励ましてほしいければ、まずは頑張っている人を励ますのです。マイナス面だけでなくプラス面もまた、鏡のように必ず自分に返ってくるでしょう。周りでは、盗難事件やいたずら半分に物を壊したり汚したりする行為も見られます。自分に違う形で返ってくると思います。もうやめましょう。

ちょっとした変化で人は大きく成長できると思います。人として**能力ある人間**になってください。

